

1 食に関する指導について

1 学校における食育の推進の必要性

(1) 児童生徒の食生活を取り巻く状況等

- ・朝食欠食の状況
- ・肥満傾向の状況
- ・痩身傾向の状況
- ・食習慣と学力、体力等との関係

⇒ 【こどもの頃の食習慣は大人になっても続きやすい】

健全な食生活が送れるような食習慣の基礎を築く

(2) 「第3次食育推進基本計画(平成28年度から32年度)」の学校における食育の推進

○国が「学校における食育の推進」において「取り組むべき施策」

- ①食に関する指導の充実
- ②学校給食の充実
- ③食育を通じた健康状態の改善等の推進

家庭や地域と連携を深めつつ、適切な取組を行う

(3) 学校給食の教育課程における位置づけ

○中学校学習指導要領

第5章 特別活動

〔学級活動〕

2 内容 (2)適応と成長及び健康安全
ケ 食育の観点を踏まえた学校給食
と望ましい食習慣の形成

(4) 食に関する指導の目標

- 食事の重要性、食事の喜び、楽しさを理解する。
- 心身の成長や健康の保持増進の上で望ましい栄養や食事のとり方を理解し、自ら管理していく能力を身に付ける。
- 正しい知識・情報に基づいて、食物の品質及び安全性等について自ら判断できる能力を身に付ける。
- 食物を大事にし、食物の生産等にかかわる人々へ感謝する心をもつ。
- 食事のマナーや食事を通じた人間関係形成能力を身に付ける。
- 各地域の産物、食文化や食にかかわる歴史等を理解し、尊重する心をもつ。

文部科学省「食に関する指導の手引 第1次改訂版」より

(5) 食育の推進のための「生きた教材」としての学校給食

- ◇栄養バランスのとれた魅力ある美味しい給食であること。
- ◇十分な衛生管理のもと安全・安心な給食であること。
- ◇地場産物や郷土食等を活用した献立の工夫を行うこと。